

平成30年9月13日
東葉高速鉄道株式会社

平成30年度異常時総合訓練の実施について

東葉高速鉄道株式会社（本社：千葉県八千代市、社長：吉田雅一）では、平成30年9月11日（火）に、八千代緑が丘駅において、「異常時総合訓練」を実施しました。

この訓練は、重大事故が発生した時の併発事故の防止や、負傷者の救出・救護、お客さまの避難誘導、事故復旧体制の確立といった異常時における知識・技能の向上を目的に、毎年実施しているものです。

今回は、2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えたテロ対策訓練を実施いたしました。当日は、千葉県警察・八千代警察及び八千代市消防本部の協力を得て、八千代市長も見守る中、総勢約200名が参加した大規模な訓練となりました。

今後もあらゆる不測の事態に備え、社員一人ひとりのさらなる知識・技能の向上を図るとともに、安全意識の高揚に取り組んでまいります。

1 実施日

平成30年9月11日（火）

2 訓練会場

東葉高速鉄道 八千代緑が丘駅

3 訓練内容

船橋日大前駅を出発した列車内（東葉勝田台駅行き）において、男が異臭を放つ液体をまき、多数の負傷者が出たとの想定で、社員によるお客さまの避難誘導及び警察による犯人制圧を実施するとともに、消防・警察による救急・救護活動を実施。

4 訓練参加機関

- (1) 千葉県警察
- (2) 八千代市消防本部
- (3) 東葉高速鉄道株式会社
- (4) イオンモール八千代緑が丘店
- (5) テロ対策ネットワーク・YACHIYO

以上



【開会式の様子】



【列車内からの避難誘導】



【犯人の制圧】



【負傷者の除染】